

令和7年度第4回 旭川市雪対策審議会 会議録

- 1 開催日時 令和8年1月30日(金) 視察 13:30~15:55
会議 16:05~16:40
- 2 開催場所 視察 市内各所
会議 第二庁舎3階会議室3C(旭川市7条通10丁目)
- 3 出席者 【委員】10名
石塚委員、葛西委員、片岡委員、藏敷委員、小谷委員、小林委員、
柴田委員、高倉委員、田中委員、和田委員
【事務局】6名
雪対策課 石持課長、高垣補佐、村形補佐
土木事業所 田中所長、齊藤維持第1係長、工藤維持第1係員
- 4 欠席者 【委員】5名
大野委員、帯川委員、木下委員、中込委員、中田委員
- 5 傍聴者等 傍聴者1名
- 6 議題 (1)「令和7年度の雪対策の取組」の進捗状況について
- 7 資料 次第
- 8 視察先 会議に先立ち除排雪作業現場を視察
土木事業所、除雪車両モータープール、積雪センサー・カメラ設置箇所、
永山地区統合除雪センター、永山地区地域の雪押し場
- 9 会議録(要点) 別紙のとおり

会議録（要点）

1 事務局から報告

本日の出席委員数が過半数を超えており本審議会が成立していること、会議は公開かつ傍聴できることとしており傍聴者の定員5名に対し本日の傍聴者は1名であることを事務局から報告。

また会長が欠席のため、副会長が議事を進行することについて事務局から説明があった。

2 開会

ただいまより、令和7年度第4回旭川市雪対策審議会を開催します。

3 議題（1）

副会長の進行のもと、「令和7年度の雪対策の取組」の進捗状況として、

- ・ ザクザク路面对策のため、気温上昇に先立ち雪割除雪の実施
- ・ 国道39号線を境に道路管理者が異なる9条通において、排雪日程を合わせる「コラボ排雪」の実施
- ・ 積雪状況監視通報システムの概要及び設置状況
- ・ 除排雪の仕組みやルール・マナーに係るテレビCM等の広報プロモーションの実施

について、事務局から映像等を交え説明があった。議事進行は次のとおり。

【副会長】

事務局から、雪対策の取組の進捗状況として、ザクザク路面对策として圧雪を削ったこと、ICTの活用、除雪ルールやマナー啓発のためのテレビCMの放映など、様々な取組の説明がありました。委員の皆さん一人ずつから、視察も含めて意見や質問、感想などを伺いたいと思います。

【委員】

私は除雪事業者の立場ですが、今年度の新たな試みとして12月に路面を削る雪割除雪という作業を行いました。皆さん「どうしてこんなに雪山を高くするんだ」と思ったでしょうが、その後暖かくなって雨が降っても車の通行に支障はありませんでした。今までは、ザクザク路面が発生すると速やかに削る作業をしていたものの、車が埋まってたくさん苦情が来る状況でした。作業に対しどのような評価をするかは皆さん次第ですが、今後どのようなやり方としていくのか、ある程度方向性は見えてきたのではないかと思います。

【委員】

今回の視察で、最新の技術やSNSなどを取り入れていることを知り、勉強になりました。こうした取組を推進していることを自分の周りの人に広めていきたいと思います。

【委員】

流雪溝や消流雪の監視システム、テレビCMなど様々な取組で進歩していると感じました。地域の雪押し場など地域除雪活動の取組についても、地域の特性に合わせて工夫しているところが参考になりました。流雪溝の利用率が半分を超える程度との話については、安全面など何か工夫できるところはないのだろうかと感じました。

【委員】

忠和や江丹別で雪が多いなど、市内でも場所によって積雪量が違う感覚はあっても、データで見て理解している市民はほとんどいないと思います。面的に計測した積雪情報を整理して、除排雪関連の啓蒙用チラシの裏面に市内の積雪マップを掲載すると関心を持つ市民もいるのではないかと思います。またテレビCMは、どう

やって市民にプロモーションするか悩んでいる市町村が上川・空知管内に多くあるので、自治体同士集まる場で話すと喜ばれるのではないかと思います。

【委員】

生活道路の排雪作業も1回目がほぼ終了したとの説明がありましたが、市道、道道、国道と一通り走りやすい道路になっていると思います。振興局と旭川市が連携した9条通のコラボ排雪の説明もありましたが、積雪センサー設置などについても同じように振興局と連携して実施しているのでしょうか。21世紀の森付近や江丹別、雨紛など、道道と市道が連結しているところがあるので、連携してもらえればと思います。

【事務局】

今回旭川市が設置するにあたり、北海道にもアカウントを渡して閲覧できるようにしています。

【委員】

今回初めて視察に行って、初めて知ることが多く、とても勉強になる機会になりました。除雪車に実際乗せてもらいましたが、近くに人がいても見えないですし、除雪作業しているときには気を付けなければならないと感じました。また地域の雪押し場として土地を借りる取組がありましたが、こうした取組が増えることで快適な冬の暮らしにつながれば良いと思います。

【委員】

家の前に何で雪があるんだという苦情が多いという話を聞きました。広報などで「どうしても家の前には雪が置かれるのでご理解ください」とあらかじめ知らせることも良いのではないかと感じます。また現場の人がかっこいいという今の社会風潮があり、現場の作業が見直されてきている傾向もあります。後継者不足という話も会議で何度も出ていますので、実際の除雪作業について広報していくと良いのではないかと思います。

【委員】

ザクザク路面対策で雪割をしたことで、苦情件数が4千件減少して200件程度になったとの話を聞き、かなり効果があることを知りました。除雪車の乗車体験では、バックカメラがついていることや、たくさんのレバーを操作して作業していることが分かったので、車両に近づかないよう気を付けようと思いました。またPRについては、私がイメージするとおりの隣近所のお爺さんで、キャラクター設定も含めとても良く、今後広まっていけば良いと思いました。

【委員】

積雪センサー・カメラを見ましたが、いろいろな機器が付いてICT化が進んできている、これからも効率化に向けてどんどん進めてほしいと思いました。「除雪に来ない」など地域の人からいろいろ文句が来ますが、作業している方の苦労を考えると、ワンクッション置いてお知らせした方が良いと思いながら連絡していて、本当にご苦勞様と思っています。

【副会長】

今日は土木事業所の所内を見たり、除雪車にも乗ったり、勉強になることが多くありました。先日札幌で大雪が降って車がスタックしているニュースを見て、旭川市でもあれだけ降ったらなかなか対応できないとは思いますが、今年は事前に雪割除雪をしたことで、道幅は狭くなったものの大雪が降っても暖気が来ても安心して通れる道路になったと思っています。私の地域では1月に5回冬みちパトロールを行っていて、削ったことでザクザク路面にならなくて良かったという声を多く聞きました。一部の方から、道幅が狭い、交差点の見通しが悪いという意見もありましたが、1月中に排雪するのでもう少し我慢してほしいと話して納得してもらったこともあり良かったと思っています。今シーズンは雪が少ないような感じがしていましたが、先ほど事務局から昨年よりも雪が多いと説明がありました。まだ冬が続きますので、雪が降って、ザクザク路面になることもあるかもしれませんが、このまま除雪がうまく回っていけば良いと思います。

4 その他

事務局から説明事項はなし。

事務局より連絡事項として、今年度最後の開催となること、次年度は5月に開催し、新たな雪対策基本計画の策定に着手を予定していること、調査票により日程調整し、開催日を決定することの報告があった。

5 閉会

【副会長】

以上で令和7年度第4回雪対策審議会を閉会します。